

多教科コラボ 難問挑む

土浦・常総学院中

土浦市中村西根の常総学院中(坂田英一校長)は本年度から、多教科にまたがる高度な指導内容を放課後の課外として設ける「スペシャル講座」を始めた。17日は英語と体育のコラボや医師による化学入門など4講座があり、生徒たちが難問に挑んだ。

講座は「社会に貢献するリーダーの育成」に向けたプログラムの一環。学期ごとに1度ずつ受講



課外4講座 指示は英文、ゲームを体験

座では、英文で書かれた指示書を基に、生徒たちがグループに分かれて複数のミッションに挑戦。ゴルフのパターや、1メートルの幅をいかにゆっくり走るか、お手玉リフティングといったゲームを体験した。ゴルフボールがなかなかホールに入らなかったり、指示書を読み間違えてお手玉を手で扱ったりと、生徒たちは試行錯誤しながら汗を流した。

3年生の室町陽菜乃さん(15)は「英語が好きなので英文は理解できたけど、みんなで力を合わせないとクリアできず難しかった。普段の授業より楽しい」と話した。

プログラムをまとめた住谷洋美教諭は「通常の授業ではなかなか取り組めない教科横断型の複雑な問題を用意した。生徒にはさまざまな角度から視野を広げてもらいたい」と望んだ。

(黒崎哲夫)

英文の指示書に従い「ゆっくりと走る」ゲームに挑む生徒たち＝土浦市中村西根